

おはよう！！「きょうはなにをしようかな」

～子どもと一緒に創る、わくわくする園庭～

菊の花幼稚園

園の教育方針

子ども達の「生きる力」を育てたい

「生きる力」＝「見えない力」

5つの「見えない力」

- ① 創意・工夫する力
- ② 意欲を持つ力
- ③ 集団生活・社会生活を上手に行える力
- ④ 集中力
- ⑤ 自ら自立する力

実践の目的と園の想い

園庭は・・・

子ども達の成長や様子に応じて環境構成の変化が必要

そして・・・

自園では、子ども達が登園して初めに通る場所

どんなことに
興味関心を持つ？

どうすれば楽しめる？

幼稚園で過ごす時間をよりを充実させる為に
「ようちえん大好き」に繋がるように

子ども達が
遊びの幅を広げていけるような園庭環境づくりとは

園庭のルール

園庭は割り当てが決まっている（1日3部構成＝朝・一斉保育の時間・昼）

朝の園庭 9：00～10：30（フリーの先生が常駐）

一斉保育の園庭 10：30～12：00（担任と一緒に活動）

昼の園庭 13：00～降園時まで（担任と一緒に活動）

※子ども達が、1日1回は園庭へ出られるように割り当てを組む

※朝の園庭の時間は、担任が必ず一緒に園庭へ出なくても良い

あさのえんてい



- 登園してきた子ども達に見えるように門近くに設置
- 子ども達が自分で確認
- 学年が上がるにつれて遊びの見通しが持てるように



子ども達の帽子の色により年齢が異なります

満3歳児

3歳児

3歳児

3歳児

3歳児

4歳児

4歳児

4歳児

5歳児

5歳児

5歳児

保育実践者紹介

- 昨年度まで担任をしていた先生
- 以前、担任を長くしていた先生
- 園庭に関わって2年目の先生

様々な視点から考える園庭の環境構成

保育者の想い

どんな園庭にしたいかな？

- 園庭にしかできない遊びをめいっぱい楽しめるように
- 園庭環境を子ども達が自分で考えて使えるように
- 異年齢同士で関わりあって遊べるように
- 自然や季節、行事を感じられる園庭に

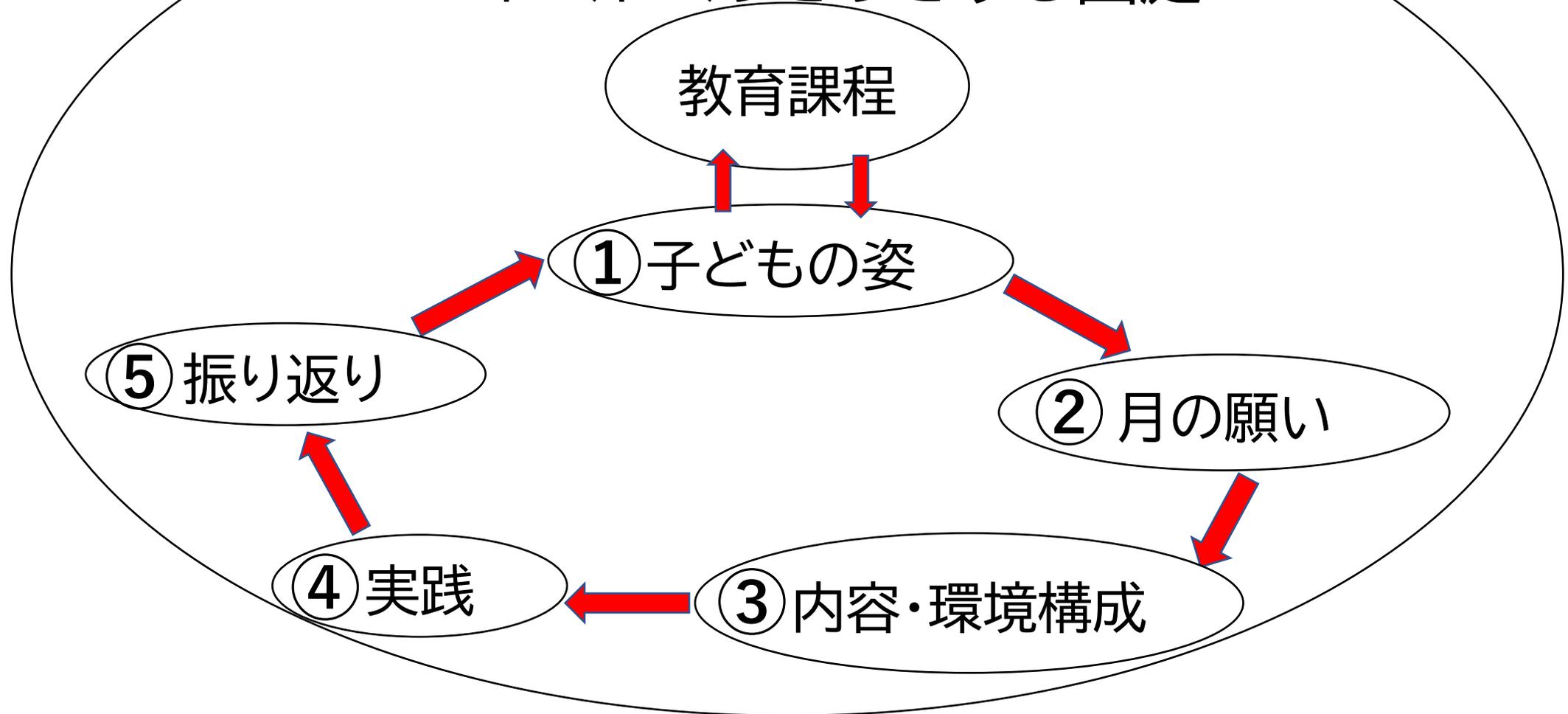
1年間のコンセプト

わくわくうきうきする園庭

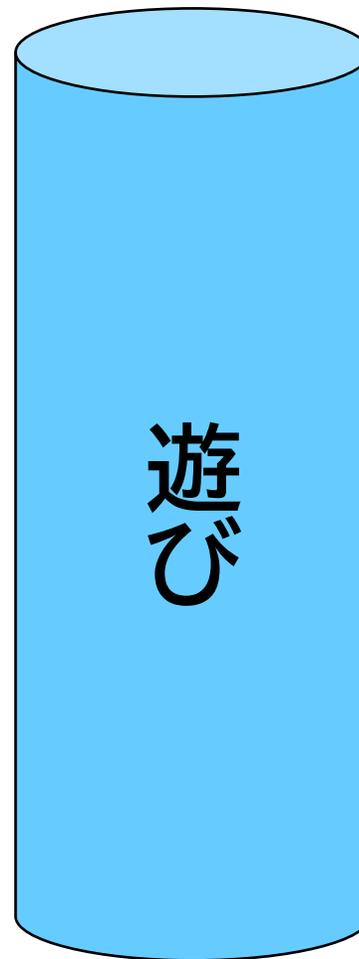
		I期	II期	III期	IV期	V期	VI期
		4月	5月・6月・7月	9月・10月中旬	10月下旬・11月・12月	1月・2月中旬	2月下旬・3月
5歳	期の姿とねらい	年長としての意識を持つ時期 <ul style="list-style-type: none"> ●新しいクラスに親しむ ●自分のやりたい遊びを見つけ意識的に遊ぶ ●新しい生活の仕方を知り安心して遊ぶ 	気の合う友だちとの遊びが膨らみ友だちとのつながりが膨らむ時期 <ul style="list-style-type: none"> ●共通の目的を持って遊ぶことを楽しむ ●探究心を持ち意欲的に活動する ●自分の思いを主張し相手の気持ちをわかるうとする 	集団の中で自分を意識していく時期 <ul style="list-style-type: none"> ●集団の中で意欲的に活動する ●集団の中で自分の役割を果たそうとする ●自分を充分に発揮しながら友だちと共通の目的に向かって遊ぶことを楽しむ 	自分らしさを見つける時期 <ul style="list-style-type: none"> ●自分なりに色々と考えやってみることを楽しむ ●自分の興味を追求しようとする ●最後までやり遂げようとする 	集団の中で自分の力を発揮していく時期 <ul style="list-style-type: none"> ●集団の一員として活動することを楽しくする ●自分で考えてやりたい事を実行しようとする ●集団の一員として自分の責任を果たそうとする 	自分たちの生活を充実させていく時期 <ul style="list-style-type: none"> ●充実した園生活を送る ●自分たちで創意工夫し園生活を組み立てる ●目標に向かって友だちと相談し協力して取り組みやり遂げようとする
4歳	期の姿とねらい	気持ちの安定を図る時期 <ul style="list-style-type: none"> ●色々な遊びに興味を持つ ●園生活を知る ●園に慣れ新しいクラスに親しむ 	新しい友だちを意識し始める時期 <ul style="list-style-type: none"> ●保育者や友だちと遊ぶことを楽しむ ●自分のやりたい遊びを見つけて遊ぶ ●自分の思いを主張し仲間存在に気付き仲間を求めようとする 	みんなで遊ぶ楽しさを味わう時期 <ul style="list-style-type: none"> ●保育者と友だちと共通の目的を持って遊びながら自己の表現を楽しむ ●色々なことに興味を持ち意欲的に活動する ●自分の思いを主張し相手の気持ちをわかるうとする 	友だちとのつながりを深めていく時期 <ul style="list-style-type: none"> ●仲間を意識しながら目的を持って遊ぶことを楽しむ ●興味を持ち仲間と共に持続的に活動しようとする 	仲間との生活を楽しむ時期 <ul style="list-style-type: none"> ●仲間と共通の目的を持って遊ぶ事を楽しくする ●仲間と意欲的に活動しようとする ●集団の中で自分の役割に気付こうとする 	自己充実を図る時期 <ul style="list-style-type: none"> ●仲間(異年齢)との生活を楽しむ ●自分で考えて行動しようとする ●自信を持って園生活を送る
3歳	期の姿とねらい	不安と混乱の中から気持ちの安定を図る時期 <ul style="list-style-type: none"> ●保育者に親しむ ●登園する楽しみを見つける ●園の生活を知る 	自己発揮をするようになり、クラスの中での経験が多い時期 <ul style="list-style-type: none"> ●保育者と遊ぶことを楽しむ ●喜んで登園し色々な遊びに目を向ける ●自分の思いを主張する 	自分以外の人を意識する時期 <ul style="list-style-type: none"> ●保育者と共に友だちと遊ぶことを楽しむ ●自分のやりたいことを見つけて遊ぶ ●自分以外の人を知る 	活動範囲を広げていく時期 <ul style="list-style-type: none"> ●気の合う友だちと遊ぶことを楽しむ ●周りの遊びに目を向けようとする ●自分の思いを主張し合い仲間の存在に気付く 	友だちと遊ぶ楽しさを味わう時期 <ul style="list-style-type: none"> ●友だちや保育者と共通して遊びを楽しむ ●自分の興味を広げ活動しようとする ●自分の思いを主張し仲間を意識する 	自己充実を図る時期 <ul style="list-style-type: none"> ●仲間と遊ぶことを楽しむ ●色々なことに興味を持ち意欲的に活動しようとする ●仲間を求める
		I期 5月～7月		II期 9月～12月		III期 1月～3月	
2歳	期の姿とねらい	新しい環境に慣れる時期 <ul style="list-style-type: none"> ●保育者に親しむ ●安心して登園する ●保育者と楽しんで遊ぶ 		園生活に慣れ好きな遊びを楽しむ時期 <ul style="list-style-type: none"> ●自分の身の回りのことに興味を持つ ●戸外で自分の好きな遊びを充分に楽しむ ●自分の思いを出しながら遊ぶ 		保育者や友だちと好きな遊びを楽しむ時期 <ul style="list-style-type: none"> ●自分の身の回りのことを自分でする ●遊びを通じて、様々なものへの好奇心・探究心を持つ ●友だちや保育者と一緒に楽しんで遊ぶ楽しんで遊ぶ 	

園庭の環境構成の取り組み

1年間のコンセプト
～わくわくうきうきする園庭～



内容・環境構成3つの柱



今日のみいつけた

植物

生き物

遊び



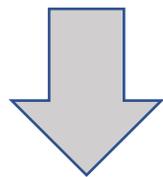
置いてあるものをきっかけに幼稚園に来ることを楽しみになっ
てほしいなあ…

保育室へ向かうまでに楽しい気持ちになるように…

色々な物に興味を持ち、遊びのイメージを膨らませるように…

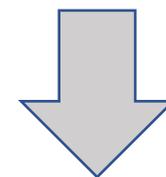
『導線』と『動線』の使い分け

保育者が子どもを
導くような環境作りをした時



導線

子ども達が実際に
動いた姿を表す時



動線

遊び

固定遊具

子ども達が
自分で考えた
遊び

保育者が意図して
置いた季節に応じて
出す遊び

I 期（4月～GW明け） 子どもの姿

○5歳

- ・ 保育者や友達の遊んでいることに興味を持ち自分も同じ遊びをする。
- ・ 前年度のクラスの友達と遊ぶ。

○4歳

- ・ 新しい環境に慣れない為、気持ちが落ち着かず何をして遊ぼうかと迷っている。
- ・ クラス担任のしている遊びを真似して一人で遊ぶ姿が多い。

○3歳

- ・ 親と離れるのが寂しく、不安な気持ちを抱えたまま登園する。
- ・ 大人のいる場所に集まり、遊びに興味を示す。

○異年齢

- ・ 低年齢児をクラスまで連れていく。
- ・ 年長児を頼り、手をつないでもらうと安心している様子がある。

わくわくうきうきする園庭創り

- ・ 不安な気持ちを抱え登園してきた子ども、期待を膨らませ登園してきた子ども、楽しい気持ちで保育室に向かえるようになってほしい。
- ・ 園庭にあるものに興味を持ってほしい。（目を向けてほしい）
- ・ 身体を思い切り動かしたり、園庭でのびのびと遊ぶことによって不安な気持ちだった子ども園庭で遊ぶと楽しい！
とあって幼稚園生活を過ごせるようになってほしい。

I 期 (4月~GW明け) 具体的な環境構成・内容

プランターや薪で道を作る。

親木広場
サーキット

かまじスペース
・竹馬・コマ

どろだんごコーナー

プランターで
花並 (華線)

今日のみつけた
園庭看板

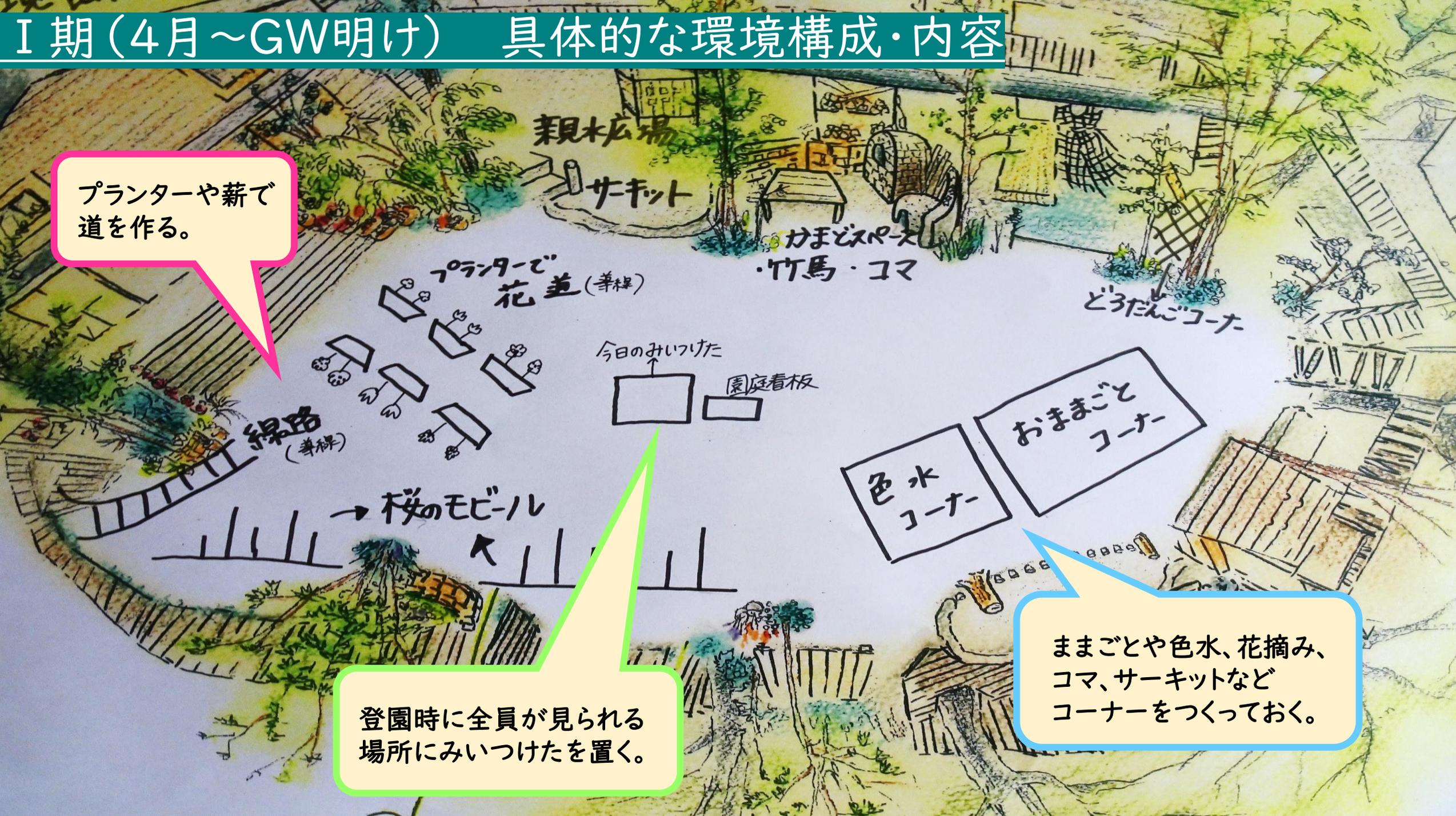
線路
(華線)

色水
コーナー
おまごと
コーナー

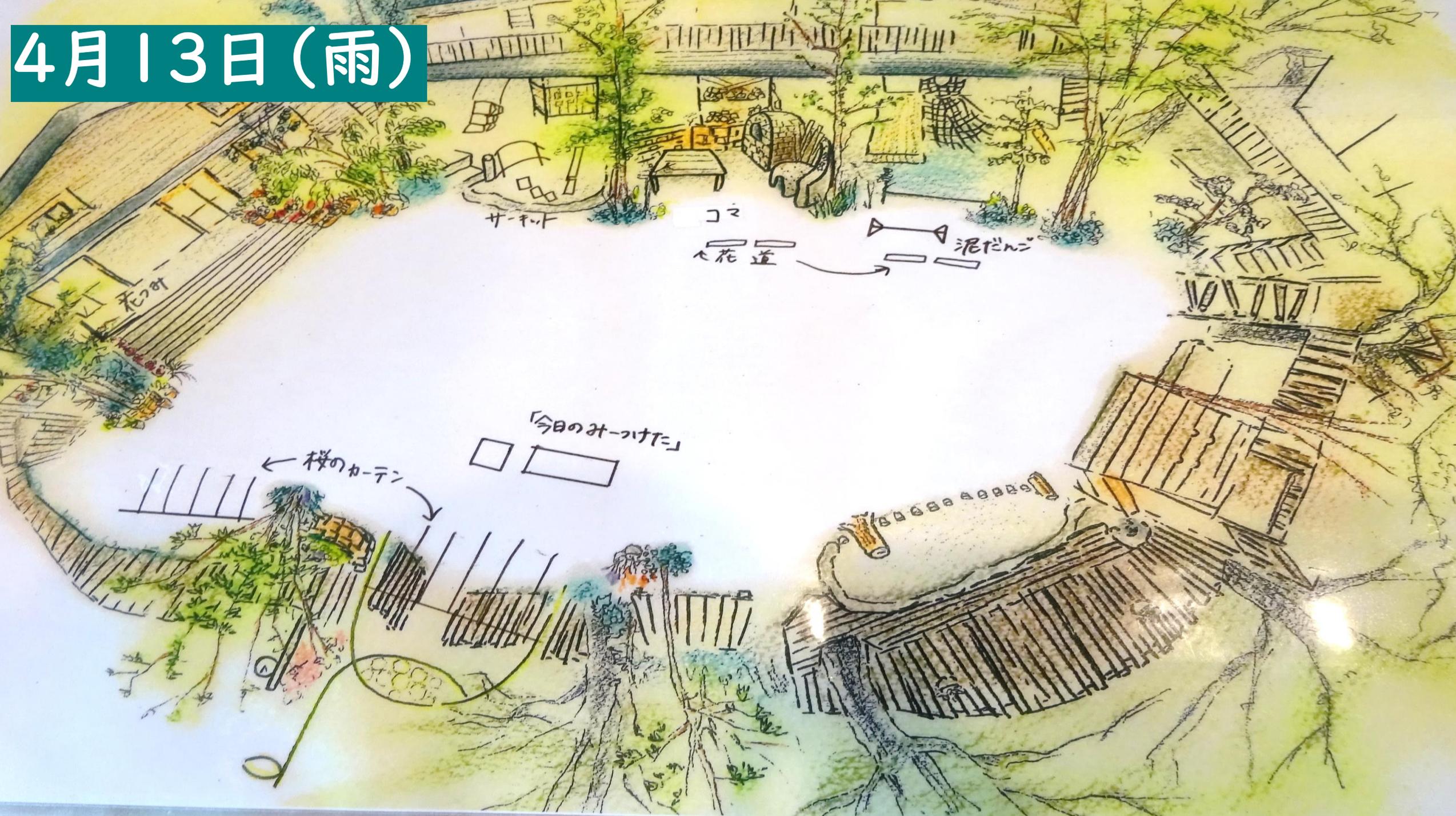
桜のモバイル

登園時に全員が見られる
場所にみつけたを置く。

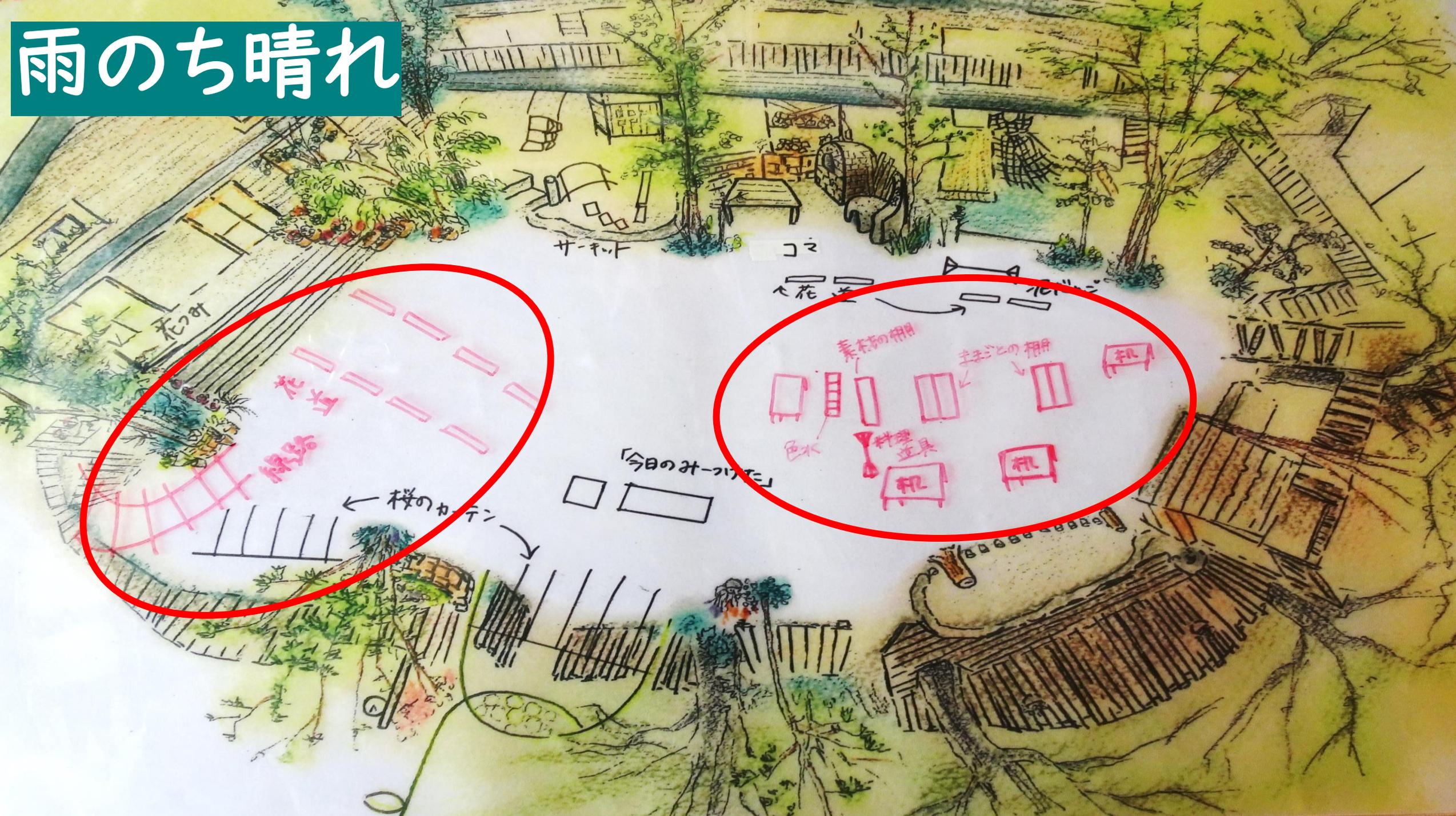
ままごとや色水、花摘み、
コマ、サーキットなど
コーナーをつくっておく。



4月13日(雨)



雨のち晴れ



4月14日(晴)

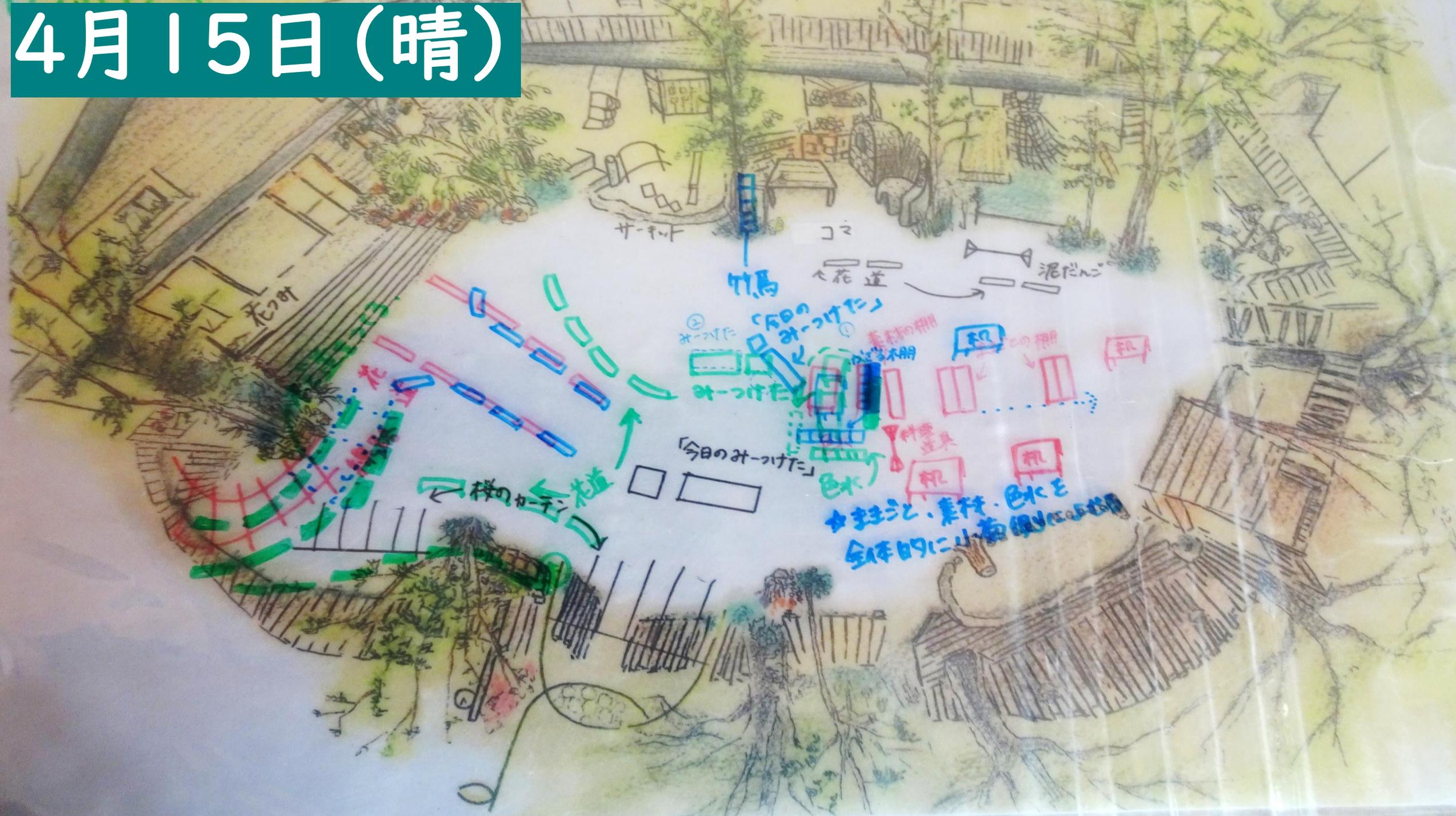


②

①

●ままごとの棚が圧迫感があって通りにくそう…
●みいつけたで生き物を置くとこんなにみんな見てくれるだ!でも混雑しているなあ…

4月15日(晴)



4月末の環境構成

季節を感じられるような
導線のしかけ。

作った色水で
こいのぼり作り。

幼稚園に慣れてもらうため
コーナー紹介。

遊びが見える
コーナー作り



I 期（4月～GW明け） 振り返り

○みいつけた

- ・最初は見向きもしなかったが、毎日置くことで「きょうは なにが おいてあるのだろうか?!」と楽しみに登園する姿が見られた。
- ・自分の経験したこと（見たことのあるものなど）は興味を示す。

○導線

- ・毎日続けることで、期待を持ち登園したり、気持ちを切り替えるきっかけになっていた。
- ・保護者にアプローチすることで子どもへの声掛けが増えた。
(みいつけたも同様)

○遊び

- ・保育者と一緒に遊ぶ事でどんな遊びがあるのかを知っていく様子があった。
- ・今までの経験が豊富な為、道具の使い方を理解していて上手に使いこなす。

『わくわくうきうきする園庭』

園庭を創っていく中で…

○みつけた

- ・置く場所、物の掲示の仕方でも子どもの興味が変わる。
また、その場に大人（保育者や保護者）の声掛けが必要。

○導線

- ・置くか、置かないかで子どもや保護者の表情が変わり、
少しの工夫で気持ちに変化が見られた。

私たちの気づきを園内
で

共有していこう…！！

○遊び

- ・担任の先生がクラスで子どもたちに園庭の話をしたか、していないかで
園庭に出てきた時の遊びの様子が変わる。

4月末の振り返り後の 園内研修の様子



Ⅱ期（GW明け～6月） 子どもの姿

○5歳

- ・自分の好きな遊びを見つけ同じ遊びを何日間も継続して遊ぶ。
- ・道具の使い方を工夫する。
- ・友達や保育者と言葉でのやり取りを楽しみながら自分の思いを伝えようとする。

○4歳

- ・少しずつ視野が広がり、友達がしている遊びに興味を持ち色々な遊びを楽しむ。

○3歳

- ・自分のしたい遊びを見つけ友達の輪の中に入るが、ひとり遊びをする。
- ・まだまだ担任や保育者の側で遊ぶ子どももいる。

○満3歳

- ・泣いて登園する。
- ・保育者の声掛けにより、遊びに興味を持ったり、土、水などの感触に慣れようとする。

○異年齢

- ・4月と同様、手をつないで一緒に登園する。
- ・次に園庭に出てくる学年の為にきれいに片付けるなど、保育者の声掛けにより意識する姿が見られる。

Ⅱ期（GW明け～6月） 園庭の願い

わくわくうきうきする園庭創り

- ・ 幼稚園に行き、今日は何して遊ぼうかな、何が置いてあるのかな、と期待を持ち、子どもたちが好きな遊びを見つけられるようになってほしい。
- ・ 子ども達自身が、園庭にあるものに気づいたり、興味を持てるようになってほしい。



『導線』から『動線』、遊びメインの環境構成

Ⅱ期（GW明け～6月） 振り返り

○みいつけた

- ・習慣化され、大人（保育者や保護者）の声掛けがなくても興味を示し、見に来るようになった。
- ・子どもたちが興味を示すことで、保護者も一緒に見て子どもと会話する機会が増えた。
- ・置く場所、物の掲示の仕方でも子どもの興味が変わる。

○どう（導・動）線

- ・保育者が仕掛けをつくらなくても、園庭にある物に興味を持ち、自ら楽しみを見つけ自分のクラスへ向かう。

○遊び

- ・自分の好きな遊びを見つけ、目的を持ち、保育者や友達と一緒に楽しんで遊ぶ姿が見られた。
- ・森に行ったときに園庭でしていた遊びを園外でもイメージを膨らませて遊び、園庭での経験が生かされている。

『わくわくうきうきする園庭』

○みいつけた

何度も見るようになる。

○どう（導・動）線

少しずつ色々な物に興味が湧く。

○遊び

自分のしたい遊びが明確になる。

子どもの反応や姿が
変わる！！



引き続き担任の先生との
連携をとっていこう！

『わくわくうきうきする園庭』は達成！！されたが…
こちらが環境を整えすぎて……

花の摘み方や使える素材を見つ
ける
チカラが育っていない…？！

Ⅱ期（6月～7月） 子どもの姿

○5歳

- ・園庭の環境に併せ、その時に出来る遊びを友達と楽しむ。
- ・その場にあるものを工夫して使い遊ぶ。

○4歳

- ・机やいすなど、遊びの道具の場所を知ると、自分や友達と一緒に用意し遊ぼうとする。
- ・自分の好きな遊びに集中する。
- ・どんな事にも興味を持ち、実際にやってみようと挑戦する。

○3歳

- ・目的を持ち、友達や保育者と関わりながら遊ぶ。
- ・机やいすなど、遊びの道具の場所を知ると、保育者と一緒に用意し遊ぼうとする。

○満3歳

- ・年長児がしていた遊びを真似しようとする。水や泥、寒天など感触を楽しむ。

○異年齢

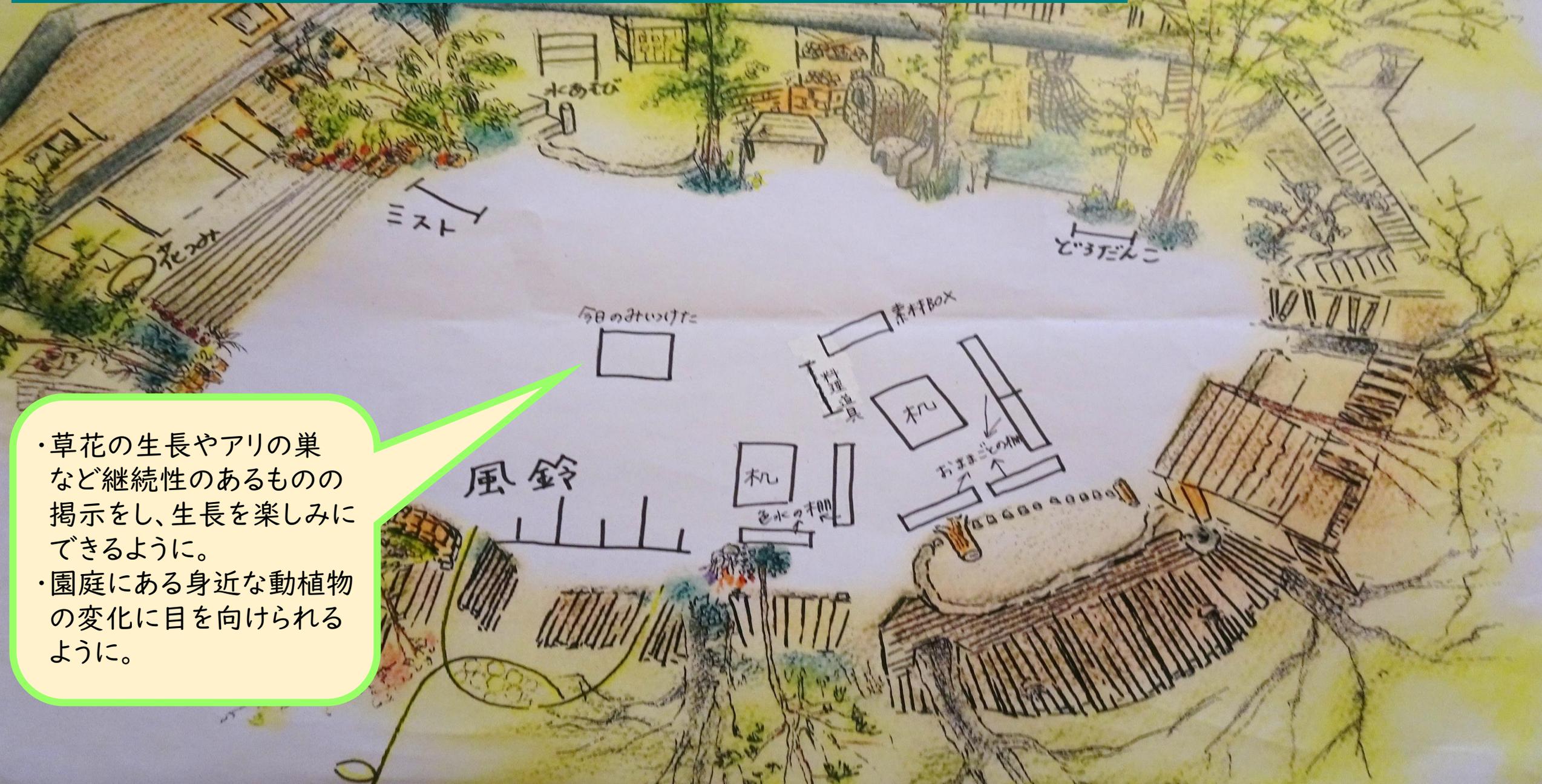
- ・手をつないで一緒に登園する。
- ・次に園庭に出てくる学年の為にきれいに片付けるなど、保育者の声掛けにより意識する姿が見られる。

Ⅱ期（6月～7月） 園庭の願い

わくわくうきうきする園庭を子ども達と一緒に創る

- ・ 遊びに使いたい草花を保育者と一緒に用意し、草花の摘み方や植物の扱い方を知ってもらう。
- ・ 沢山摘んでしまうと他の友達が使えなくなってしまう事を伝え、摘む量を考えられるように。
- ・ ままごとや色水の棚など片付け時に砂や泥を落として布巾で拭くなど、次遊ぶ相手のことを思いやる気持ちを育めるように。

I期(6月~7月) 具体的な環境構成・内容



- ・草花の生長やアリの巣など継続性のあるものの掲示をし、生長を楽しみにできるように。
- ・園庭にある身近な動植物の変化に目を向けられるように。

雨の音を聞けるように



池になるように



- ・雨の日は缶やボウルなどを置き雨の音を聞けるように。
- ・薪で水溜まりを囲い葉っぱを浮かべ、池のようにして遊びに繋がるように。

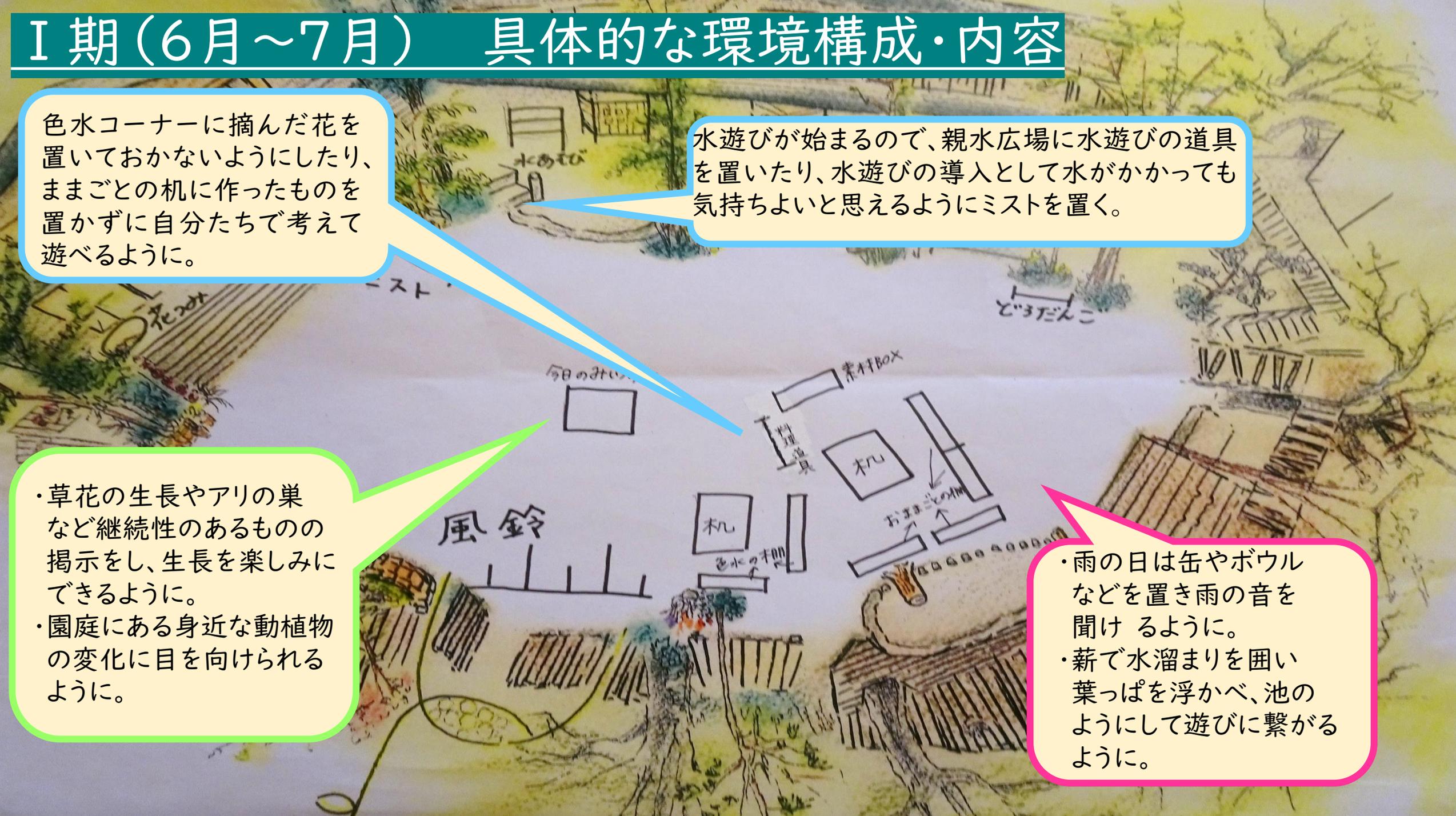
I 期 (6月~7月) 具体的な環境構成・内容

色水コーナーに摘んだ花を置いておかないようにしたり、ままごとの机に作ったものを置かずに自分たちで考えて遊べるように。

水遊びが始まるので、親水広場に水遊びの道具を置いたり、水遊びの導入として水がかかっても気持ちよいと思えるようにミストを置く。

- ・草花の生長やアリの巣など継続性のあるものの掲示をし、生長を楽しみにできるように。
- ・園庭にある身近な動植物の変化に目を向けられるように。

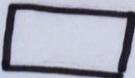
- ・雨の日は缶やボウルなどを置き雨の音を聞けるように。
- ・薪で水溜まりを囲い葉っぱを浮かべ、池のようにして遊びに繋がるように。



6月14日の環境構成

好きな場所に
机を運び遊ぶ

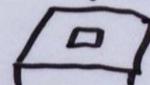
今日のおつけた



色水の棚

おまごとの棚

机



風鈴



色水の棚など
使いやすい場所
に
移動させる

期待する姿

わかったこと

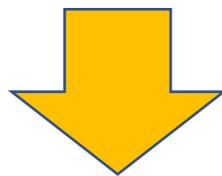
★登園時に、園庭環境を見て出来る遊びを考え、その時々々の環境に順応している。

★その反面…

使いたいものを保育者に出してほしいとお願いしたり、自分で用意したりすることが出来ない。ただ、走ったり、今あるものでしか遊べない。

私たちが期待していた姿と
実際の姿がなぜ異なったのか…

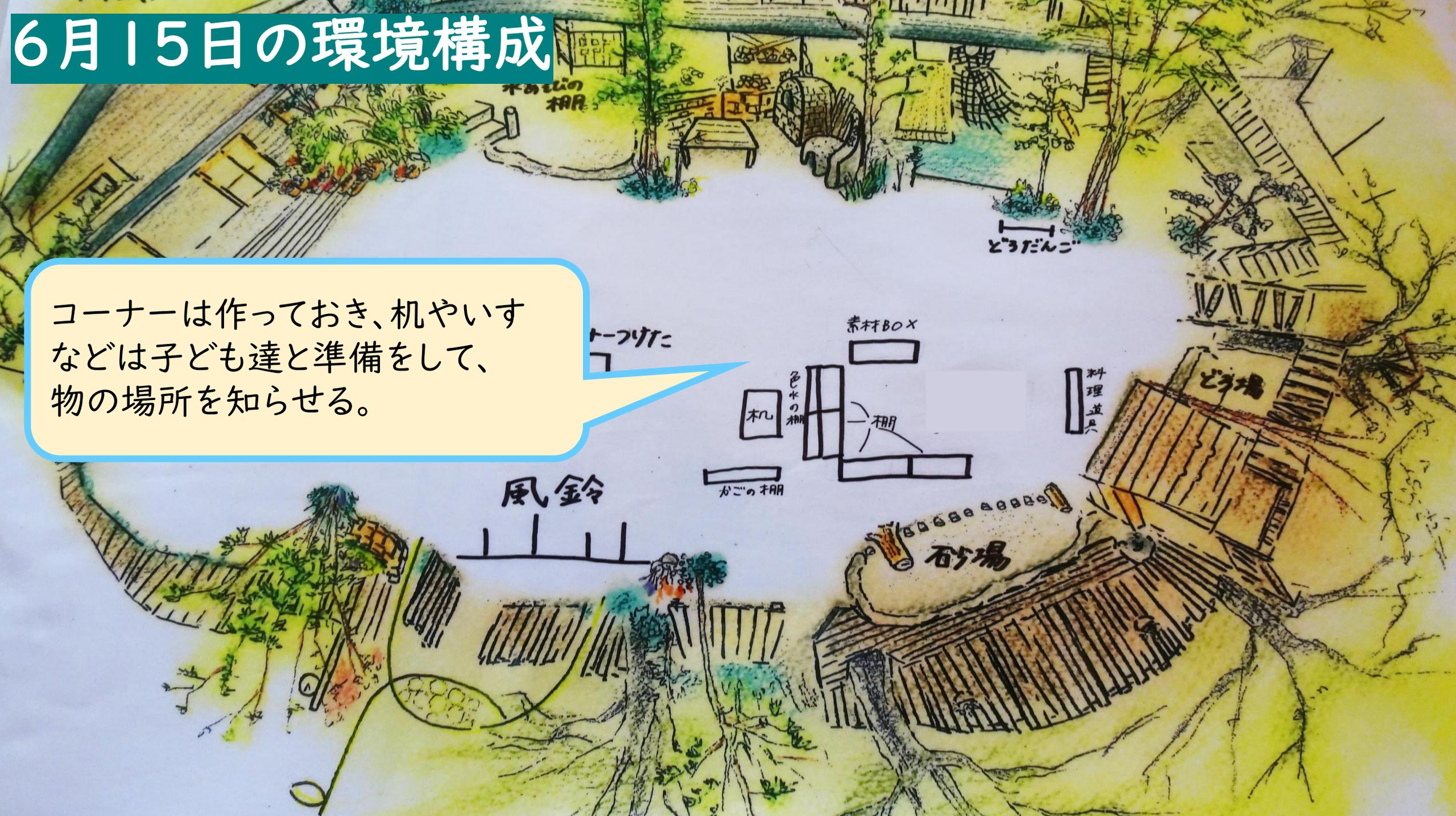
物や道具を自分で出すという経験がなかった！！



物の場所がわからなかったのではないか…？

6月15日の環境構成

コーナーは作っておき、机やいすなどは子ども達と準備をして、物の場所を知らせる。

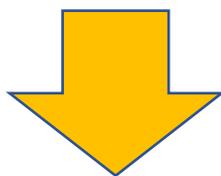


自分で出していない机や道具なども片付ける事で、
『置いてある場所を知る』という事ができ、今まで道具の
場所を知らなかった子どもたちも知っていく事が出来た。



しかし!!

保育者から声を掛けないと道具を出そうと
しない姿が見られている。



7月も継続！！

Ⅱ期（6月～7月） 振り返り

○みいつけた

- ・同じものを継続して紹介する事でそのモノに対してより興味を示し、『継続して観察するチカラ』や『探求心』そして、『新しいものに気づくチカラ』も育っている。

○どう（導・動）線

- ・こちらが意図して導線を創らなくても、園庭にある全てのモノが子どもたちにとって『導線・動線』になっていた。

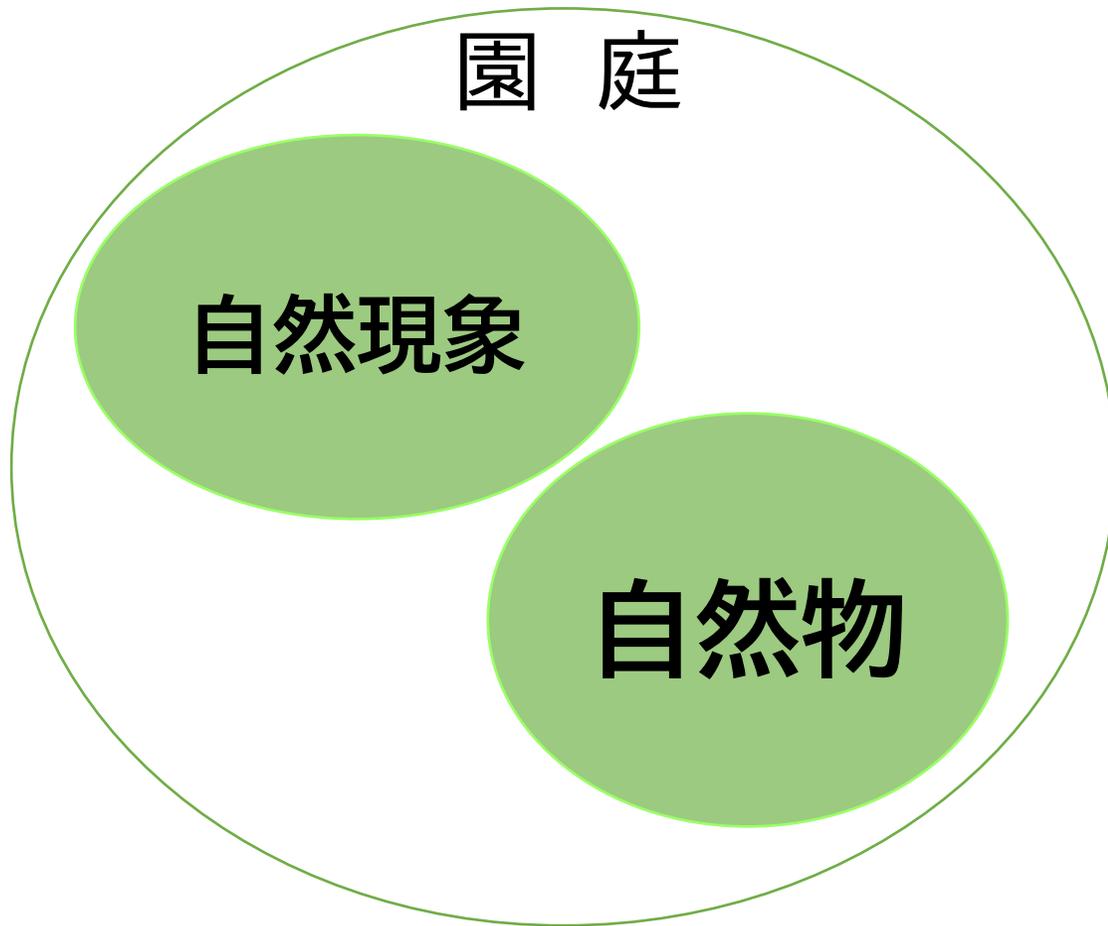
○遊び

- ・花を摘む際には、摘みすぎないように、などの友達のことを思いやる。
- ・自分のやりたい遊びがより明確になった事で道具の準備を自ら行う。
- ・ある物の特性を生かし、その物をどう使えばより楽しくなるかを友達と試行錯誤して考えながら遊ぶ様子や保育室で考えてきた遊びをカタチにする為、道具を上手に組み合わせる。
- ・目的を持って友達や保育者と遊び込む姿がみられました。
- ・「みんなのために！」と他学年を思いやる気持ちがみられる。

『わくわくうきうきする園庭を子ども達と一緒に創る』

園庭を創っていく中で…

園庭にある全てのものが『導線・動線』



- 子どもの興味関心に寄り添う。
- 子ども達はその時に何を見ているか、何を感じているのかを知る。
- その時間を大切にする。

総合考察

みいつけた

はじめは・・・

- ・ 通り過ぎる子が多い。
- ・ 大人（保育者や保護者）の声掛けがないとみない。
- ・ 泣いて登園。

習慣化

- ・ 毎日期待を持ち、楽しみにするようになった。
- ・ 楽しみにする保護者も増え、親子の会話が増えた。
- ・ 朝の忙しい時間にもホッと一息できる場に。
- ・ 笑顔で登園。

子どもたちが園庭にあるすべての物に興味を持ち、目を向けようとする、視野の広がりや気づくチカラ。

「なんでだろう?!」から「もっとしりたい!」
『探求心』が育まれ、このようなチカラ。

遊びを広げるチカラ

どう(導・動)線

はじめは・・・

保育者が花道や線路、
薪の道などの導線を創ると
保育室までの道順が視覚的
にわかり、安心し、楽しみ
ながら通っていく。

園に慣れると

道順がなくても安心して
保育室に向かえるようにな
る。

みいつけたで様々な物に興味を持つチカラが
ついたので・・・

遊び

はじめは・・・

- ・ 保育者と一緒に遊び、
どんな遊びがあるのかを知る。
- ・ 保育者が用意した物で遊び、
楽しむ。

好きな遊びが
見つかると

- ・ 友だちと遊びを楽しむ。
- ・ したい遊びのイメージを
膨らませ、保育者と一緒に
準備を行う。

- ・ 道具の使い方や遊び方を
知っている為、初めから遊び込む。

様々な経験

- ・ より遊びが広がる。

今日のみいつけたや、どう(導・動)線で見たいもの、
見つけたもの・ことが子どもたちの遊びのきっかけに。

今日のみいつけた

様々な物に興味を持つチカラ



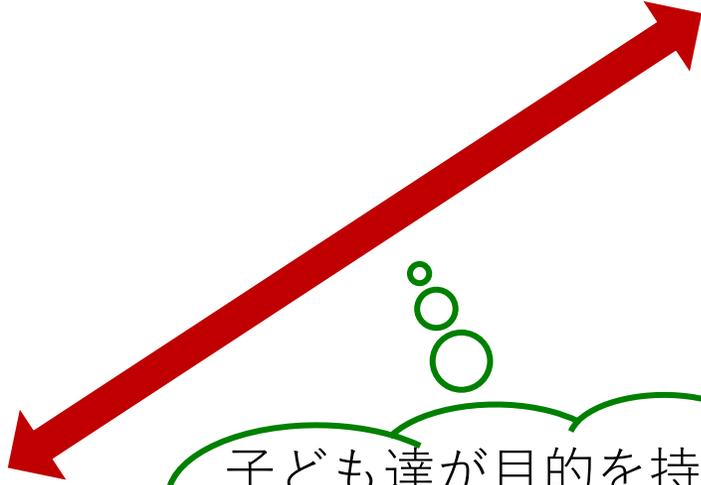
自分たちで楽しみを見つけ保育室へ

どう(導・動)線

わくわくうきうきする園庭

遊び

みいつけたや、どう(導・動)線で見たもの、見つけたもの・ことが子どもたちの遊びの目的に。



子ども達が目的を持って園庭に出てきてくれることで創れるものではないか…。

わくわきうきうきする園庭を創るには・・・

物的環境

置く場所、掲示の仕方を年齢や時期によって工夫し、視覚に訴える。



子どもたちの興味や関心が高まり遊びの目的が明確になるのではないか。

一番長く過ごす保育室で、一番信頼できる担任の先生に、園庭の話をしてもらうことで、より、子どもたちの遊びの目的を明確に出来るのではないか・・・

人的環境

声を掛け、関わりを持つ。



安心感を感じ、様々な物に目を向け、今まで気づかなかった事に気づき、遊びの可能性をどんどん広げていくことが出来るのではないか。

子ども達がしたい遊びを保育者が拾って広げる。時期や年齢、ねらいにあった関わり方。



遊びの目的の持ち方が大きく変わるのではないか。

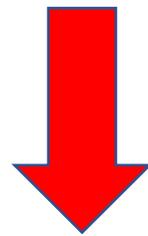
園
庭

相互作用

保
育
室

Ⅲ期以降もこのような姿が多く見られるのではないか…

子ども達が物を工夫して使い自主的に遊びを
広げていける環境が必要



その為に

物的環境

物の置き方や
出す物の工夫。

人的環境

子ども達発信の遊び
をより広げる必要性
遊びの様子を保育室
とすり合わせる。
保育室との連携。

2学期以降の課題

保育室との連携をとるため・・・

- ・遊びの様子を話し合う
- ・アンケートを実施
- ・園庭だよりを配布

園全体で、“わくわくうきうきする園庭”を
子ども達と一緒に創っていけるように、
試行錯誤しながら取り組んでいきます！

参加者の皆様へお願いとお知らせ

①ZOOM入室後、名前を「幼稚園名」に変更してご参加ください。

②発表用PPには、子どもの写真を多数掲載しています。

発表用のPPの写真撮影やスクリーンショット等はお控えください。

- ③発表後、ブレイクアウトルームにて皆さんと意見交換をさせていただきたいと思います。
宜しく申し上げます。
- ④ブレイクアウトルーム内の進行は、菊の花幼稚園の職員が担当します。
- ⑤発表についてのご質問等について
ブレイクアウトルーム内で菊の花職員でお答えできる質問と、出来ない質問があると思います。
すぐにのお返事が難しいご質問に関しましては発表者より改めてメールにてお返事させていただきます。
ご質問は、お手数おかけしますが菊の花幼稚園のメールアドレスまで質問内容を送付してください。宜しくお願い致します。

[菊の花幼稚園メールアドレスkikunohana.poem@gmail.com](mailto:kikunohana.poem@gmail.com)

上記アドレスまでご連絡ください。担当よりお返事させていただきます。

本日はありがとうございました